



2月の園だより

学校法人志賀学園

松の実こども園

令和8年2月1日

梅の蕾がほころび始め、ようやく季節の移り変わりが感じられるようになってきました。「子どもは風の子元気な子」というように、毎日子どもたちは園庭で元気に走ったり体操したり、遊んだりしています。感染症なども流行しておりますので、引き続き感染対策を心掛けながら過ごして参りたいと思います。

さて、園では毎月様々な状況を想定して避難訓練をしています。先日は不審者対策の避難訓練ということで、ホールの大型スクリーンで『いかのおすし』というDVDを鑑賞しました。楽しい映像と歌に合わせて興味深く分かり易い、あの手この手で悪い人に連れて行かれそうになった場合の対応についてのお話しでした。知らない人に、

- ① おもちゃをあげるから一緒に行こうと言われたら「ついていかない」
- ② お家に送ってあげるよと言われたら「車にはのらない」
- ③ 怖い目に遭ったらキャー！助けてー！と「おお声で叫ぶ」
- ④ 追いかけられたら「すぐ逃げる」
- ⑤ 勇気を出して誰かに「しらせる」

という内容です。昨今、小さな子どもが犠牲になる痛ましい事件や事故も後が絶ちません。「お父さんやお母さんに頼まれたから」と悪い人が言うセリフがありますが、お父さんやお母さんは知らない人にお迎えは頼まないのでついていかないようにという内容でした。どこでもお家の方と離れないことが肝心ですが、常日頃からお子様と確認し合って、大切な命を守っていきましょう。年長組さんは4月から学校生活が始まります。特に登下校中におかれましては、自分の命は自分で守る意識を持っていけるようになると良いですね。

そして、2月3日は節分です。節分とは季節の変わり目にあたる日のことで、元々は立春・立夏・立秋・立冬の前日を指していました。旧暦で春は一年のはじまりであることから、現在では立春の前日のみを「節分」というようになっています。節分に豆まきを行うのは邪気を払って福を呼び込むためです。一般的には、病気や災害などの悪いものを鬼に見立て追い出そうというのですが、園では、最近、豆の誤飲の心配もあり、寸劇で豆まきを行います。園で作った鬼のお面は、ご家庭の豆まきでご活用ください。園では、鬼の嫌がる匂いのする焼いたイワシの頭と触ると痛い柊を、豆がらの枝に刺した『ヤイカガシ』をお部屋の入口に飾っておきますので、どうぞご覧になり親子の会話の一つとしてください。節分の日には、お家でもどんな鬼を退治するか家族で話し合い、豆まきをしてみてはいかがでしょう！